（一日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（雜報欄行五十錢 場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人　遊沼龍輔
發行所　福島縣平町五町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

國家と社會主義

上田東城

◇

社會主義とは何ぞやといふに、社會を理想的に改善したいといふのが根本思想であつて、その點ではどの流派もみな共通してゐる。たとへば勞資問題にしても資本家も勞働者も共に社會にとつて協同一致の實を擧げ、人生の幸福を享受したいといふことを最後の希望としてゐるのであるから其の根本思想は是認すべきである？資本家が自分だけ贅澤をして勞働者を恰も機械か道具かのやうに見てゐるといふことは、まことに人道上許すべからざる罪惡であつて、斯くの如き制度は極力これが廢止に努めねばならぬのである

◇

然るに現在の社會主義者の主張し宣傳しきた實行するところを見れば、社會的ではなくして却て非社會的な露骨を往々見受けるのである。私は嘗て社會主義を評して「社會主義か非社會主義か」と云つたことがある、それは社會主義が餘りに非社會的であるのを諷したのである

◇

社會秩序を根本的に覆せとか或ひは無産黨階級の勞働者だけの手によつて天下の事を思ふやうに處理しなければならぬとか常規を逸した勝手なことを放言するものがある、併しこれとても現在の社會狀態から觀れば、不平不滿も生ずるらしい結果となるので、その點に大いに同情し私たちも共にこの醜い現狀を改造しなければならないと思つてゐるところであるが、而もそれを無智に等しい輕擧妄動を敢てするもの丶出づるに至つては斷じて與しがたいのである。かうしたことは社會主義の根本思想のために誠に惜むべきであると謂はなければならぬ

◇

社會主義が非社會主義であるといふことに關聯して今更のやうに思はれるのは國家の力の偉大さである、私は今、國家の力を説くに先立つて、まづ人間の力について述べたいと思ふ。それは本來からも云はれてゐることであるが、人間の協同一致の力は實につよいものであるといふことである、そのことは去る十二年九月に於ける、關東方面の大震災に當り特に一般人の痛感したところであらうと思ふのである

◇

大震災に當面して先づ誰でも最初に感じたことは、人間の力が非常に弱いといふことであつた科學が發達したと云つても、あの大凶變の一分一秒前までは、誰一人として豫知した者がなく、一たび地震が起れば僅數秒の間に人間の五十年百年の仕事や文化が、忽ち一度に破壞されてしまふといふ有樣であつたから、人間の力ほど微弱な頼りないものはないと誰しも感じたのであつた。併し地震が終つてから暫く立つて見ると、今度は反對に人間の力は強いものである、偉大なものであるといふことを感じはじめた

◇

併しながら、これほど強い人間協同の力も、その背後に國家の力が存在してゐない限りは、それほどの強さを增すことが出來ないのである。昔、ある學者が「戰爭の時に國家を見る」と云つたが、私たちはあの天災に當面してまさに「國家」を見た、國家とはたとへば空氣のやうなもので、平常はあるかないかも判らないものである、人間はひどく勝手なもので、平常は空氣の有難さを忘れてゐながら、窒息しやうとするやうな非常な場合に臨むと、今更の如く空氣の必要をさとるのと同じく、人は有事の際にばかり國家を目前に見るものである

◇

私たちは人間協同の力の偉大であることを知ると同時に、國家の力のより重大であることを寸時も忘れず眞に社會的な、人道的な、國家的な人類の活動が發揮されんことを望んでやまないのである。

明日の吉凶
新暦十月二日　舊暦八月七日

▲一白　何となく居心の安からざる日田園散策が吉▲二黒　行く先きに塞がりの生ずる日旅行金談等凶▲三碧　元氣の生じ來る日新天地に活動するに吉し▲四綠　生氣壯なれども外交には失敗多し▲五黄　內外多端にして且つ冗費多き日自戒すべし▲六白　心堅實なれば目上の引立て有て出世すべし▲七赤　衣食を節し進むに秩序ある時は吉日と成る▲八白　時運吉しと雖も不圖した邪魔の入る憂へあり▲九紫　意志堅固なる時は有終の幸福を享くべき日

講談

(152)　高橋掬太郎創作　布施平八郎揮毫

一擧兩得の策

怪人の正体が判らない、そして神部清左工門の上に掛つてゐる疑も晴れなかつた。

成昌は忠義のものそして指南番の吉村玄蕃をも一刀の下に斬つて捨てた腕前の者と云ふやうに詮議して行くならば家中の者のうちには神部清左工門の他になかつた。

そこで重大夫が考へたのは清左工門に怪人の詮議を命ずることであつたつまり清左工門も怪人とは別人で何の關係もない者であれば清左工門が怪人を討つか怪人が清左工門を討つか二つに一つである、怪人が清左工門に討たれたなら目的通りであるし清左工門が若し怪人に討たれたところで却つて身分等に都合がよかつた

清左工門は萬事萬端につき重太夫に對し反對の意見を述べたことなしに十有餘年を經て來たが重太夫にとつてはどうしても清左工門の存在が邪魔であつた

一言も干渉はされないが何處となく監視されてゐるやうで氣持ちが惡るかつた、そして清左工門か領內の者の信望か篤く、默つてゐても絶大な潜勢力があるのを重太夫は恐ろしく亦、妬ましく思つた、で何んとかして清左工門を亡き者にしたいと考へるのであつた

けれども清左工門は油斷がなかつた、いつぞやも吉村玄蕃と寳部左門に命じて暗殺しようとしたが失敗に終つた

故に清左工門が怪人に討たれることも彼等には都合の良いことであつた、また清左工門が怪人の正体であるか或は別人であつても兩者の間に何か氣脈を通じ合つてゐるようなことがあるかを探るには腹心の者に清左工門を尾行させようと云ふのであつた。

昌康はこの策意を聞いて膝を叩いて感心した

「成程、討つてもよし討たるもよしか、こりや一擧兩得の良策であつたわい

「主君とも御賛同下さいまするか」

「うむ、いかにも同意ぢや萬事その方の良い樣にいたせ、任かせるであらう」

「はツ！お任せ下さいまして辱けなく存じまする、たゞ何事も主君の御爲め、またお家の爲めでございまする」

「たゞその方たちの忠義は余も嬉しく思ふぞ、軍治も重太夫も協力して何事も余の爲めにつくして呉れよ」

「はゝッ、仰せまでもございませぬ主君の爲めには水火も辭せぬ覺悟の某にござります」

川越軍治も忠義らしく云ふのであつた。

「然らば川越氏至急神部清左工門の許へお使者をつかわし、直ぐ登城いたすように申されたい」

と重太夫が云つた

と軍治は起ち上つて次の間へ出たが間もなく神部清左工門を伴つて入つて來た

「丁度下城なされようとする處でござりました」

と軍治が云つた

清左工門は今迄、深雪の方と話し込んでゐて漸く下城しようとする所で軍治に逢つたのであつた

「急のお召し何ぞ重大事でもございましたか」

と、清左工門は昌康の前に頭を下げて命を問ふた

「うむ、余の儀ではないがその方に怪人の詮議を頼みたいのざや」

昌康は清左工門の顔色を讀むようにじつと見つと見つめながら云つた

「ハツ！拙者に怪人詮議の役といたせと仰せられまするか？」

清左工門の面には思はず當惑の色が現はれた

「どうぢや、余の爲め家の爲めぢややつてくれるか」

昌康は突込むように云つた

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

片濱自動車運轉
平、高久、豊間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…二二七番 一四二番（御三人以上はお迎ひに參上致します）
平町四丁目和泉屋旅舘前
鈴木 片濱自動車商會

秋！
活躍のシーズン來る
勞働勤務に遲刻に
指示正確なる
時計を
蓄音器とレコードの御用は……
定評ある當店へ
TRADE MARK NIPPONOPHONE
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

日々皆樣の御贔負に酬ゆる爲め左記の通り大々的勉強仕り候是非引續き御愛顧の程御願申上候
記
期間 十二月末日マデ
梅 參圓也（御一人前 藝妓、車賃往復 御酒御料理三品）
松 五圓也（御一人前 藝妓、車賃往復 御料理五品）
櫻 七圓也（二人樣デモ差支アリマセン 藝妓、車賃往復 御料理七品）
〔以上現金ニ限ル〕
割烹 ときわ
松ケ岡公園池ノ端
電二二二六番

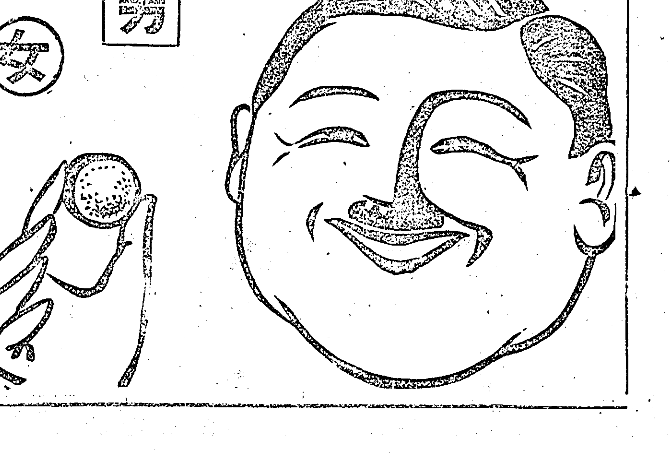
不思議な滋強靈液 養命酒
肺結核、肺炎カタル、ロクマク、性的不能、神經衰弱、不眠性、貧血症、婦人病等の特異靈劑なり、其偉効に實驗者は慈く賣行きの增大するを與て其眞價を立證せらる、惱み苦しむる人々の一大福音なり
此際是非御試用を切に勸む
定價 一、五〇 二、〇〇
代理店 山野邊藥局
平町五丁目角

入院隨時（自炊の便あり）
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
電話浪花三五一番 振替東京三二四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄 五名
小學校卒業程度御希望の方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

寒さに是非……
毛糸各種 新荷着
手編用に防寒用にイヨ／＼需用が激增してまゐりました。是非御用命を
平町三町目
三井吳服店
電話三十八番


男 女
生殖機能
衰弱を歎く人
旺盛を欲する人に
トツカピン
◎何ともいはれぬ人間味！

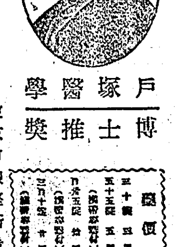
歡 ○樂は短く哀愁は長いといひます。つい昨日のことに思はれる山野の花は早や悉く散り果てゝ、今は青葉の世界、行樂の春に醉つた人々の上にも恐しい性の衰退、神經衰弱で惱みが襲ひかゝらうとして居ます。

ど ○うも頭がボンヤリすると云ふ方よ、何だか身體がダルくて仕方がないといふ人よ、急に精力の減退を感ずるといふ男女よ……ウカ／＼しては居られませんその症狀こそ實に悲しむべき性慾衰退の徴候なのです。

老 ○衰といふ言葉ほど生ける者に取つての恐怖はありますまい、しかもその戰慄すべき老衰こそ、生殖機能の衰退が原因であります。生殖器の衰弱は全く人生の幸福の總てを奪ふものです、初期の衰弱を放任して一家の破滅、事業の失敗、加之に人生無上の幸福を犠牲にした人が、どれ程多い事でしようか

生 ○殖機能の衰弱を感ずる人よ、神經衰弱、不感症に惱む男女よ、精力增進を希ふ人々よ今や一刻を爭ひます、直ちに日本一の實行と世界的權威ある生殖機能營養劑トツカピンをお試し下さい。貴下の望んで止まざる幸福と歡喜が必ず訪れるであります。

云 ○ふまでもなくトツカピンは內外により以上の聲名ある文化藥です、效果に於て、信用に於て、一頭地を拔いて居ります類似賣藥や一時的興奮劑の類とは比肩すべくもありません。服用後の何ともいはれぬ樂天的氣分と健康感をお試し下さい。


戸塚醫學博士推獎
定價
發賣元 丁子堂藥房
東京市銀座新肴町八 振替口座東京七二二一番
大阪西區立賣堀北通二ノ九 振替口座大阪一〇六番
○全國到る處の有名藥店にあり

選擧違反事件 遂に豫審に移る
罪狀明白となり 某氏の身邊危急

石城郡に於て縣議選擧終了直後の二十八日より司直の活動を見るに至つた政黨縣議に係る違反事件は本紙屢報の如く野崎滿藏氏の爲めの答應、賣收等に當つた平町才組小路警司本事小野某外二名は既に平檢事局の手に有力な證據を握られ罪狀全く明白となり三笠檢事より起訴され事件は既に豫審に附され報道の自由を有せないが事件は可成り與みし運動資の出所等明瞭になつたもの〃如く下某氏の身邊極めて危急を傳へられてゐる

選擧の混雜に 不良横行
平署取締嚴重

平警察署では選擧取締の爲約一ヶ月に亘つて晝夜も分たぬ大多忙を極めてゐたので一般取締が稍不行屆きの傾向となり鼠賊の横行、路上商品其他物件の障碍、自動車の取締法に違背するもの及び學校生徒工場職工會社員等の酒食に浸つて不良を發揮し盛んに風紀を紊してゐるもの等が跋扈するに至つたので猪狩署長は三十日管內署員を招集して之が嚴重なる取締方に就て訓示する處あつた

平稅務署管內 賃貸委員會
廿八日開會

平稅務署では去る二十八日より土地賃貸調査委員會が開かれ賃貸價格の議査が行なわれて居るが、法定期間三十五日間にして今三十日より來月三日まで臨時休會し四日より引きつゞき續行の筈である

知事以下を迎えて 上水道竣工式
各種の催しも加へ 平町役場準備中

平町が百萬の巨費を投じて八幡小路の配水池第二期工事並に城山の擴張工事が完成し今や東北有數の上水道竣成を見るに至つたので町當局では此の大工事を將來に記念すべく豫て種々計畫中なりしが愈々來る十六日盛大な水道敷設竣工披露の祝賀式を擧行する事に決定目下各種の準備を急いでゐるが當日は本縣伊東知事を始め平井內務部長、內務省土木局、縣土木關係者其他地方有志數百名を招じ八幡小路グランドに於いて當日午前十一時より開會祭儀、町長式辭、伊東知事祝辭、來賓祝辭等の後列席者來賓等を平劇場に招待午後一時より盛大な祝賀宴を催す筈で尚全町民に此の喜を分つため當日は町內に於ける八十歲以上の高齡者並に第一、第二小學兒童、商業、訓盲兩校生徒全部に紅白の餅を附與する等其の他種々祝賀方法を考究中である

須らく棄權せよ
今次縣議戰に顧みて

此度行はれた普選當初の縣會議員選擧に於て到る處多數の棄權者を見た。殊に文化の都市に於ける程其數多いことを示したるは抑何を物語るものであるか。斯く申す私も餘程棄權しようと思つた者の一人である。諸君現代の政治家と稱する連中に眞に國家を憂ひ縣を思ふ者果して幾人あるであらうか。機會ある毎に名を地方の開發に藉りて私腹或は黨腹を肥やさんとする不心得な似而非政治家の多いことである。彼等は演壇に立つた時こそ天下國家を我物顏に論ずるけれども、何れも反對黨を目標としての所謂反對せんが爲めの反對で寧ろ詭辯を弄するとかく思はせらるゝ事が屢々である。愛國或は愛縣心と言はんよりはむしろ愛黨心そのものゝ凝りの如くである。日比谷劇場のあの喜劇的騷鬪振りを見よ。國を愛ふるのあまりと言へば立派に聞こえるが何ぞ計らん、唯是愛黨心の迸り出づるあまりではないか。かゝる選良を出した我々選擧民は其罪を大いに天下に謝さなければならない。我々選擧民は彼等の優越感或は政治趣味を滿足せしむべき、材料ではないのである、贊否の際にきり必要でない陣笠連ばかり出す位なら立派に棄權した方がいいと思ふ。

選擧は飽迄公正に、而も何物にも束縛されない自由意志でなければならぬ。今回の棄權者の多い原因と目すべきものに政治的訓練の不足、普選の不徹底、狩出の行はれざること、選擧民の增加、候補者と親しみの無いこと、其他當日の個人的都合等種々擧げられるゝだらうが、私は政治的訓練も出來て居り、普選もよく承知し、而も當日何等の支障もなくても都合のいいことに狩出といふものがないので充方自由意志を發揮するを得た爲めに意識的棄權が可成多いことだらうと思ふ。都會程棄權者の多いことは八口や冷淡者の多いからばかりでなしにかゝる意味の進步者が多いからとの見方もされてはゐるまいか。買收もされず、强制もされざる立派な態度である。私は敢て棄權を勸める者ではないが、候補者が先づこれならばといふ人でなければ良心の命の儘に棄權する迄である所罰令に依つて之を禁止するが如きは滑稽千萬である。

（日出雄）

小熊氏出發日

平署司法主任より中村署に榮轉した小熊警部補に來る三日午前八時五十五分平發にて赴任すると

勤儉週間の行事を 生徒から答案
三項を決議實行する 磐女校の新試み

縣立磐城高等女學校では今一日より向ふ一週間全國的に行はるゝ節約きん險强調週間について意義ある試みとして全生徒中からこの一週間はどういふことをすればよいかといふことについて無記名答案の募集をしたが更にそれを各級正副組長會議を開いて審査したがその內容事項は仲々面白いものがある、即ちこの一週間は全く遺失品を無くすること、毎日傘類や書類その他を學校へ忘れるもの、或は汽車に置き去りするものが二三あつた。又晝食にパンを食する者が全年數あるがパンは一切買はず辨當を必ず持參すること、更に日曜日に學校で活動見物を許可して居るが、これを我慢することの三項を決議しこれを實行することにした

青年巡回講座
十月下旬開催

本縣聯合青年團では社會教育の爲めと銘打つて開くことゝなつた青年巡回講座は中町を市部に加へ本郡では中、四倉、小名濱、勿來、澤渡の各町村で十月下旬より開く事となつたが科目は國民道德、公民生活、政治經濟、職業及び思想問題等に關する事項で

一、講師は郡部中曾根社會教育主事及び社會課員四名風祭縣視學正來工業學校長、唐士磐中校長、富田岩瀨農學校、近藤實業教員養成所長

平署管內の 火藥庫檢査

平警察署では昨三十日から四日間管內各町村の火藥庫檢査を施行する事となつたが檢査官は縣保安課箱崎警部である

磐中職員と 磐女生試合
けふ庭球の

磐城女學校庭球部に試合を挑むもろくも慘敗の浮目を見た磐城中學校職員庭球クラブではその後臥薪嘗膽その復讐を誓つて毎日火の出る如き猛練習を續け居たが、やうやく自信が付いたものの如く猛然と戰を挑んで來たので今一日午後一時より女學校庭球コートに於て試合を行ふことになつたが今日のメンバー左の如し

磐中職員組	女學生組
生田荒川	小菅長山
河野菅野	西牧比佐
生田廣田	長瀨佐藤
根本田中	瀨谷菅原
齊藤大村	渡邊鈴木

狂犬豫防注射
平、植田兩署で

平署及び植田署管內の狂犬病檢診及び豫防注射は各町村役場前で左の日割で行ふ由

五日湯本、六日磐崎、七日小名濱、八日泉、九日植田、錦、十日勿來

綠肥を奬勵して 養蠶家を救濟
取り敢ず共同購入 郡蠶業組合計劃

石城郡養蠶同業組合では繭價の暴落による養蠶家救濟の一方法として繭の生產費たる桑園の改良と桑の生產費低廉を計るため綠肥播種を奬勵することゝなり希望者に綠肥の無償配布をなし一般養蠶家に普及を計るため試作せしめることになり泉村ではすでに五斗の共同購入をなしてゐるが種子の共同購入についても同組合支部と協力これが奬勵に努めることになつた、綠肥のまき方及び收穫方法は次の通りである

◇まき方　耕うんの際片側の株際から土を中央の方へ耕し反對側の土を耕さない前に中央の低い場所に木灰を反當り二十貫目溝に添ふて施す▲灰の上にまだ耕さない株際の土を中央の畔に振合はして溝を作りこの中へ綠肥の種子を反當り一升五合ないし二升の割合に條播して土を輕く覆へて置き發芽後一二回除草する

◇收穫　桑の發育を害する場合は中刈收穫し二回收穫する▲收穫の時は一二日大陽に當てゝ干し石灰を反當り二三十貫まいてすきこむ

きのう店を閉じた 四倉繭市場
最高六十六圓を唱へ 明春の活躍期待

石城販賣利用組合四倉繭市場は盛況開場以來連日の取引高頗る高潮で晩秋繭もいよいよ切りとなつたため昨卅日を以つて閉場する事となつたが最終日に於ける取引高は千四百九十六貫餘に達し此の金額八千九百八十四圓五十二錢と言ふ巨額に達したが當日の相場は最高六十六圓五十錢最底四十四圓貫匁六十圓を當て晩秋繭取引に於ける最高値を示してゐた尚同日取引頗る多かつたため三百五十口中二百五十口の取引を了したのみで殘餘百口は今一日取引される筈であるが此の好成績は同市場の逐年發展の途上にある事を雄辯に物語るもので同市來春繭出廻期に於ける同市場の活躍は今から期待されてゐる

山田青年總會

山田村青年團では來る十月四日同村小學校に於て秋期總會を開催するが當日は郡農會小塙技手の農業に關する講演ある筈

小名と大浦の 甘藷栽培好績
農林省で調査

石城郡農會では數年來郡下各農村に甘藷の栽培を奬勵して來たが昨今どうやら可成に甘藷栽培が普及されて來た結果各れも相當な收益を見るに至つたが此の甘藷栽培に最も好績を上げて居る大浦村並に小名濱町の如きは出來榮が殊の外見事で本場物の其れに比敵する程の良好であるため農林省では今月中旬を期して葫記二ケ町村に於ける甘藷栽培の狀況及栽培法品種其の他段當り收量等を精密に調査する事に決定した

櫻井文庫
近く開庫の順

磐城高等女學校では故櫻井前校長遺族の寄附金二百圓で櫻井文庫を作るべく書籍蒐集中のところこの程文書箱も出來上つたので近く生徒に開放すると

大なる興味の中に 東北軟式庭球大會
九曜クラブ主催で 出場實に百餘組

平町九曜クラブ主催第二回東北軟式庭球大會は既報の如く明二日午前八時から九曜、商業のABコートに於いて華々しく擧行されるが既に參加申込チームは百四十組を數へ昨年の三縣聯合大會と共に新記録を示し而かも參加チーム各地に於ける第一流を網羅し當日の盛觀は今から期待するに足るが參加チーム中には東都に於ける一流チーム鐵道省の戸田、三井、阿部與津組を始め仙鐵の山内鐵藤、東北學院の佐藤管野、原町鐵道の島古內、日立金子、出羽、磯原稻葉、茅野、磐炭松本武藤志賀、猪狩、平クラブ根本野田等其の質に於いては從來各地に催された各れも大會にも優るものであるだけ果して何人が榮冠を得るやは全く豫想付かず興味の中心となつてゐる

好間校運動會

好間村小學校では來る八日午前九時より青年團處女會と聯合し秋季大運動會を開く事となつた

穀物檢査の利は 一石平均三圓
過去五年間を調査して 平檢査所の實蹟

穀物檢査所平支所の大正十一年開設以來本年度まで五ケ年間の檢査米と地方無檢査米との取引價格の比較調査をして見るに五ケ年平均の檢査米は石單位一圓九十三錢四厘の高値を示し月別に見れば七、八、九、十の四ケ月は常に二圓二三十錢の開きを見せ、一、二、三、四、五、六の各月は一圓七八十錢の差額を示してゐるがこれによつて檢査米取引には今後一層の工夫が拂はれるものと見られてゐるなほ本年八月の檢査米の平均値段は石三十五圓十八錢で無檢査米の三十二圓六十錢二厘に比すれば二圓五十七錢八厘の高値を示してゐる

秋期繭品評會
山田村小學校に開いた 入賞成績發表

石城養蠶同業組合山田村支會では去る廿九、卅の兩日同村上山田小學校教場で今秋期繭の品評會を開催したが當日は郡同業組合成田技師出張審査の結果次の如く入賞者決定昨卅日午後三時同場で褒賞の授與式を擧行した

△入賞者

△一等川原吹傳一、鈴木保藏△二等瀨谷鶴次、鈴木秀之助、川原吹孝藏、佐川百藏、瀨谷忠次郎、金山淸吉△三等木村龜次外十一名△四等鈴木稿次外三十三名　以上

支柱夫慘死
落盤の下敷きで

磐崎村大字藤原三菱炭礦恐加利澤坑々夫長屋居住石川郡小平村生れ支柱夫石塚初井（三五）は去る廿九日午後二時頃同支柱夫霜山長右工門と共に入坑し坑木取替作業に從事中俄然約三尺大の落盤あり下敷となり壓死し屍體は平署橋矢田部長出張檢視の上で家人に引渡した

梅浦氏講演
ゆうべ盛會を極む

入山採炭株式會社專務取締役梅浦健吉氏の最近ロシアの政狀並に思想問題の講演會は昨卅日午後六時より磐城銀行樓上に於て開催したが折柄の雷雨に邪魔され聽衆百餘名に達し非常の盛會であつた

明紙休刊

御宸翰寄贈
在平各學校へ

福島市廣盆社主幹五十嵐標次郎氏は平町山崎與三郎、白井一郎氏外有力家の援助により歷代天皇御眞蹟帳各一冊を平町所在縣立學校に一冊、町立學校に一冊と寄贈した

平町水道の 竣工式
來十五日執行

平町の水道第二期擴張工事は工費十萬餘圓を投じこの程全部完成したので來る十月十五日頃竣功式擧行に內定目下縣に補助金の關係上竣功檢査を申請中であるが町役場では今三十日午前九時より委員會を開き種々協議した

平町田町

高久病院

電話五一三番

醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽淸
藥劑士 佐竹菊雄

內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 （久） 釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番

確實敏捷は（久）の生命なり

創業三十周年紀念賣出し中
御後援を賜り候御禮として

特賣
トンカツレツ
メンチカツレツ
ライスカレー
各十五錢
其他相應じて格安

松茸フライ 一品三十錢

十月一日ヨリ相始申候
洋式宴會仕出し
平町田町
一の井
電話一六七番

登錄商標
醸造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話一〇營業部 二七醸造工場
振替東京一九七五五番
東京支店
上野車坂町四三
電話下谷五七二二
振替東京六八三二二

謹啓母フデ事病氣の處療養不相叶九月三十日午後七時死去仕候間此段乍略儀以紙上辱知各位に謹告仕候
尚葬儀は來る十月四日午後二時自宅出棺大林寺に於て相營み可申候

十月一日
平町久保町
永山和平